

農地・水・環境保全だより 第9号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

平成23年度 農地・水・環境保全向上対策 伊勢管内活動発表会が開催されました

去る8月5日（金）に伊勢市御菌町のハートプラザみそのにおいて、伊勢志摩地区（伊勢市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町）で農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織や三重県、管内市町、水土里ネットみえの関係者など120名余りが参加して「平成23年度農地・水・環境保全向上対策伊勢管内活動発表会」が開催された。

この「活動発表会」は、活動組織の日頃の地域における農地保全活動や環境活動の事例発表を通じて、各活動組織の質的向上を図り地域振興に一層活発に取り組んでいただくことを目的に平成21年度より開催され、本年で3回目となる。

主催者である三重県伊勢農林水産商工環境事務所の油谷敬朗所長の挨拶に続き、伊勢管内の5つの活動組織よりそれぞれの取り組みについて発表がありました。



油谷所長 挨拶

①東宮農地保全グループ（南伊勢町）

基盤整備後、排水路に土砂が堆積していたが、この事業により重機等を使用し、土砂堆積を撤去でき、長年の悩みを解決できた。

高齢化で農業者離れが進む中、この事業により農業を前向きにとらえられるようになった。

田んぼの生き物観察会、休耕田を利用したひまわり畑の迷路、収穫体験等の保育園児とのふれあい活動を実施。

②牧水会（度会町）

40年以上放置されていた牧戸池の堤体の補修をすべて区民の出合いで行った。コスモスの植栽による景観形成活動、岩風呂川の生き物調査を実施。いろいろな生き物の生息が確認でき、清流域に生息するボウズドジョウも見つかっている。



発表を聞き入る参加者

③茶屋みどりの会（玉城町）

農事組合法人を中心に自治会、老人会、婦人会、子供会が活動。共同活動として水路の草刈り、水路の泥上げ、清掃活動、ホテルの観察会を実施。営農活動として地域住民と交流のための地産地消交流会での昼食会と先生による食育講演会、中学生の体験学習の受け入れ等を実施。

④ふるさと東大淀の自然環境を守る会（伊勢市）

排水路の泥上げ、農家総出の出合い等、農家の減少により出合いの対象者をどうするかが今後の課題。農家・非農家の若手を中心にした30名の草刈り隊。「地域住民との交流」、「ふるさと東大淀の地場産業の育成」の2つを目標とした農産物・海産物の産直市の開催。小学生の農業体験、EMだんご・EMぼかしづくり等を実施。活動開始から目標としていた「ふるさとの環境保全と絆づくり」、「伝統文化の継承」はこの活動を通し明るい兆しが見え、これらを未来ある若者に伝えていきたい。

⑤西環境保全会（伊勢市）

50年来放置された排水路の浚渫がこの地域の一番の要望であった。この活動により水が流れるようになり地域の方に喜ばれている。今後の課題は兼業農家が多いので出合いの頻度に気を付け負担のかからないやり方が必要。特定の役員にかかる負担が大きいため役員間のバランスも必要。

活動発表後、休憩をはさみ三重県農業基盤室野村主幹より本年1月15日に開催された「みえのつどい“2010”」の報告と本年11月5日に開催予定の「みえのつどい“2011”」への協力を依頼し、引き続き伊勢農林水産商工環境事務所地域農政課西井主査より「地域活性化プラン」の推進についての説明があり、この活動発表会は盛会に閉会した。

活動組織情報

・コスモスの里比自岐保全協議会（伊賀市）

当地区のホタル祭は、本年度で第12回を迎えた。当初は上野ホタルの会が行っていましたが、第2回から地元比自岐地区と上野ホタルの会が共催の形で実施してきた。平成19年度からは、農地・水・環境保全事業の生態系保全活動として今年度まで実施してきた。

当地区のホタルの育成は、平成8年の農業集落排水事業推進から始まり、本年度に至っている。生活雑排水・農薬などでホタルなど水中生物が全滅状態であったので、農業集落排水事業を推進して地区を南北に流れる比自岐川・御代川を以前のような清流に戻すことを地区住民に訴え、連日連夜集落座談会を開催し、木津川・淀川の源流である比自岐川・御代川をきれいにすることが当地区住民の義務と推進であることで一致した。結果滝川ダム完成による上水道の供用とともに農業集落排水事業が完成し徐々に河川にホタルのえさになる川蜷（カワニナ）が生息してきた。そうするとホタルが年々増加し、昭和年代のような夜の風物詩が復活した。



ほたるの幼虫



放流時の幼虫

ホタルの育成は、平成18年までは比自岐小学校の生徒が面倒をみてくれたのが、小学校の統合により、以降は地区公民館長がその育成に毎年6月末から翌年の3月中旬まで写真のような幼虫を見守っている。3月中旬の幼虫の放流を地区保育所園児の手で行ない、6月中旬にはホタルの乱舞があらこちらで見られます。

今年度も6月11日（土）小学校体育館を会場に環境の話、影絵、バザーなどを開催し、地区内外より500人余の方が当地区へ訪れ初夏の一夜を楽しんだ。

今後も比自岐の里がいろんな動植物が生育できる村づくりに励んでいきたい。



保育園児による放流（3月上旬）

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

・ 榊原みずすまし会（津市）

～「田んぼアートin榊原」が開催されました～

去る6月12日（日）に、田んぼアートin榊原と榊原みずすまし会（農地水の活動組織）の主催で、「田んぼアートin榊原」が開催されました。

3色の稲で田んぼに巨大な絵を描く、「田んぼアート」の田植えイベントです。絵柄は地元の小学校で公募し、「がんばれ日本」のメッセージと笑顔の少女の絵柄を提案した榊原小学校5年西川天海さんの作品が採用されました。久居農林高校の生徒も準備段階から参加し、絵柄を田んぼに描くための測量や田植えに汗を流しました。



ラジコンヘリコプターから苗の投下

当日は、ラジコンヘリコプターから苗を投下するセレモニーが行われ、榊原みずすまし会の山川会長の挨拶の後、田植えが始まりました。

応募して津市内外から参加した約100名の親子連れをはじめ、地域のみなさんや高校生など、多くの方に参加いただき、知事や地元選出議員も応援に駆けつけるなど、賑やかなイベントになりました。



田植えの状況



山川会長の挨拶

田んぼアートは、7月初旬には絵柄が鮮明になり始め、8月いっぱいまで楽しめます。9月下旬には、稲刈りイベントも開催する予定です。

みなさまも、是非、榊原の田んぼアートをご覧ください。

事務局からのお知らせ

・ みえのつどい“2011”の開催案内

本年度も平成23年11月5日（土）に津市の三重県総合文化センターにおいて「みえのつどい“2011”」の開催を予定しています。

これまでのイベントは、平成20・21年度は情報提供型、平成22年度は参加型で、本年度は最終年度を迎えより質の高い参加型イベントを目指しております。活動組織を問わず、より多くの皆様の参加をお願いします。



座談交流会の様子

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

募集の案内

「うちのすげいやんか活動PR」パネル募集

平成19年度から始まりました「農地・水・環境保全向上対策」も5年目を迎え、みなさんの活動も充実してきたように感じております。そこで、11月5日（土）に開催の「みえのつどい“2011”」の会場内に県内すべてのみなさんの活動パネルを展示します。「すげいやんか」なPRをお待ちしております。これまでみなさんが行ってきた農地水のいろいろな活動を存分に自慢PRしてください。

応募方法等は、同封のチラシをご覧ください。

☆田んぼの生きものキャラクターコンクール作品募集

田んぼや畑は、毎日食べているお米や野菜などを作っている大切なところ。そこには、メダカ、ホタル、カエル、タイコウチ、タナゴ、ドジョウ、アメンボやその他にも鳥や花などいろいろな生きものが住んでいます。この生きものたちが住み続け、いろいろな人たちに農村を身近に感じてもらうため、愛着のある「田んぼの生きものキャラクター」を募集しています。同封のチラシを子供会等に配布をお願いします。

メダカのコタロー劇団による作品の審査、表彰も予定しています。



昨年度のみえのつどい“2010”
「メダカのコタロー劇団」公演

上記募集に関して

【主催】三重県及び三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

【応募先・問い合わせ先】

〒514-8570 津市広明町13番地 電話059-224-2556
三重県庁農水商工部農業基盤室農業基盤グループ 野村、中村

〒514-0006 津市広明町330番地 TEL059-226-4824
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会（水土里ネットみえ内） 山川、廣瀬、庄村

・投稿募集のご案内

活動組織のみなさまの活動状況や県内の他の組織にアピールしたいこと、苦労話などがありましたら、事務局までどんどん投稿してください。

お待ちしております。

投稿先
〒514-0006
津市広明町330番地（三重県土地改良事業団体連合会内）
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
TEL 059-226-4824 FAX 059-225-7332